

民謡「江差追分」で全国優勝

# 声や表現で 情景を伝えられる 歌唱を

千歳民謡連合 江差追分北優会  
北斗中学校 1年

近藤 佳星 さん



2歳から民謡を始め、数々の民謡大会で優勝を飾る。9月には、日本を代表する民謡「江差追分」の大会「第26回江差追分少年全国大会」で優勝。好きな食べ物はいちごと寿司。日課はインコと遊ぶこと。左右にお団子を作る「カホちゃんヘア」がトレードマーク。

# PEOPLEの窓

みなさんの活躍  
紹介します

大会中の印象深いできごとはありませんか。小さな子が、「佳星ちゃんいつもYouTube（※）見てます」と話しかけてくれたのがうれしかったです。去年出場した全国大会での私の歌を聞いてくれて。

優勝した9月の全国大会を振り返っていかがですか。今までの大会では、本番の緊張もあって、家やお稽古で出せていたものが出せないことがありました。全国大会も完全に練習どおりではないけれど、以前よりも落ち着いて歌えていたと思います。審査員の先生からは最高の評価をいただき、「歌うために生まれてきた子だね」と、お褒めの言葉をいただきました。今後も努力を続け、そう思ってもらえるような歌手であり続けたいです。

めざす歌手像と、ご自身の歌唱の持ち味を教えてください。私は特別な才能があるわけではないので、努力しなければうまくならない、上にいけないと常に自覚しています。持ち味は、高音を生かした歌唱です。私は寸法（邦楽における音程の高さ）が高めなので、ほかの人が出せないような高音を出せます。

※江差追分会の公式YouTubeチャンネル。全国大会で10位以内に入ると配信される。

民謡を聞いてくれる人の中には、耳が聞こえない人や目が見えない人もいます。例えば海がテーマの民謡なら、目が見えない人にも「海ってこうなんだ」と、声や表現でその情景を伝えられるような歌唱を心がけています。今後の目標を聞かせてください。ひたすら大会での優勝を追い求めるよりも、まずは来年の江差追分全国大会の「一般の部」本選に出場することが目標です。一般の部にはすごい方がたくさんいますが、これからもっと努力して予選を勝ち抜き、本選に進む50人に残りたいです。そして将来は、民謡歌手になりたいです！

民謡を歌うときに心がけていることはありますか。民謡を聞いてくれる人の中には、耳が聞こえない人や目が見えない人もいます。例えば海がテーマの民謡なら、目が見えない人にも「海ってこうなんだ」と、声や表現でその情景を伝えられるような歌唱を心がけています。

## 先生、教えて！



ヘリコバクター・ピロリ  
(ピロリ菌) 感染症について



市立千歳市民病院  
消化器科主任 嘉成 悠介

### 第26回

今回は、「ヘリコバクター・ピロリ（ピロリ菌）感染症」についてお話しします。ピロリ菌は胃粘膜に持続感染し、胃粘膜の慢性炎症を背景として、萎縮性胃炎（胃の組織が破壊された状態）、胃・十二指腸潰瘍、胃がん、悪性リンパ腫などの上部消化管疾患を引き起こします。国内でのピロリ菌感染者割合は約35%と以前に比べて低下傾向ではありますが、感染人口は依然として多く、日本における感染時期は乳幼児期で両親から感染するものと考えられています。ピロリ菌感染者の胃がんリスクは、未感染者と比べて15倍以上とされ、過去の比較試験では除菌成功群で不成功群の39%まで胃がん発生を減少させると報告されています。

感染早期の除菌ほど胃がん予防効果が高く、除菌治療は家族内感染を防ぎます。厚生労働省では、胃がん検診の問診に加え、50歳以上の方に対し、2年に1回の胃エックス線（バリウム服用）検査または胃内視鏡検査を行うことを推進しています。胃エックス線（バリウム服用）検査は被爆の問題やバリウム排泄のための検査後の下剤服用、内視鏡検査は体力的に負担を感じる方もいらっしゃるかと思えます。そのような方には血液検査のみでピロリ菌感染の有無と胃粘膜の萎縮度を判定し、内視鏡検査施行の必要性を判断する胃がんハイリスク検診もあります。胃がん予防には早期の発見・治療が重要であり、35〜40歳の間に胃がんの初回検診受診をお勧めします。